

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		園芸振興事業						予算事業名		園芸振興事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				06	01	04	11	経常経費							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業					
		特色ある農業の振興と活性化													
		農村環境の保全						担当課係等		農政課 農業係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
一斉防除が広く定着することで、農薬の削減と害虫被害が軽減し、環境に配慮した農業及びコスト削減による安定した農業経営が推進される。使用済農業用廃プラスチック類の収集等を協議し、農村環境の保全と園芸農家の健全な発展を目指す。							効果的な病害虫防除と農薬削減につながることから10年ほど前から開始された。環境に配慮した農業生産、安全・安心な農産物の安定供給が求められている。不法投棄が近年公害として社会問題となっている。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
市内にフェロモントラップを設置して害虫の発生状況を調査し、その結果を基に効果的な防除時期を予想し対象者に周知する。啓発活動を実施し、使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理を適切に行う。							市内園芸農作物生産農家								
							【事業をとりまく環境の変化】 安心・安全で低農薬の農産物や環境に配慮した農業など、付加価値のある農業への関心が年々高まっている。近年中国が廃プラスチックの輸入を停止した為、処理費用が高騰し農家の負担も増えている。								
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
害虫の調査により、当該年度の発生状況を予察し、効果的な防除時期を予想し対象者に周知する。使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理。				害虫の調査により、当該年度の発生状況を予察し、効果的な防除時期を予想し対象者に周知する。使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理。				害虫の調査により、当該年度の発生状況を予察し、効果的な防除時期を予想し対象者に周知する。使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理。							
■事業費															
				R05年度		R06年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	2,286	2,809								
歳入計(千円)				2,286		2,809									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)									
	08	旅費			43	158									
	10	需用費			315	321									
	13	使用料及び賃借料			6	92									
	18	負担金補助及び交付金			1,922	2,238									
歳出計(千円)(A)				2,286		2,809									
伸び率(%)						22.87									
備考	総合計画85ページ 予算書130ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	使用済農業用廃プラスチック類の収集回数	回	目標	5.00	5.00	5.00
	使用済農業用廃プラスチック類の収集		実績	5.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	廃プラ回収数量	トン	目標	233.00	233.00	233.00
	使用済農業用廃プラスチック類の収集		実績	171.05	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農業用廃プラスチック類の収集については、農村環境の保全と園芸農家の健全な発展に必要不可欠である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	農業用廃プラスチック類の収集については、生産者、市、農業協同組合で協議会を構成し行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	農業用廃プラスチック類の収集については、市や農業協同組合が生産者に啓発指導している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	農業用廃プラスチック類の収集については、市や農業協同組合が最小限に必要な人員を出して実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	農業用廃プラスチック類の収集については、希望する農業者は分け隔てなく参加できる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	収集を希望する農業者から新規登録は毎年あり、農業生産に伴って発生する廃プラスチック類は適正に処理されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	農業用廃プラスチック類の収集回数については、目標を達成している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
環境問題に配慮し、新鮮で安全な園芸作物を求めるニーズに対応するには、生産者の育成や意識改革が重要であり、生産基盤強化や経営体への支援を農業協同組合等の関係機関と一体となって推進しながら、継続して実施していく必要がある。 農業用廃プラスチック類の収集については、生産資材の調達コストおよび処理費用の増加による農家の負担が増えている中、不法投棄の発生を防ぐ為にも補助の継続が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農業用廃プラスチック類の収集については、市内農業者向けの活動周知および適切な処分を促す啓発活動を推進していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 環境問題に配慮し、新鮮で安心・安全な園芸作物に対するニーズに対応するには、生産者の育成や意識が重要であり、園芸産地の生産基盤強化や生産者への支援を農業協同組合等の関係機関と一体となり、改善を図りながら実施していく必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	